

一箕地区青少協広報

令和6年3月号 発行責任者 一箕地区青少年健全育成推進協議会会長 猪俣 佐登子

あいづっこ宣言作文コンクール 表彰式・発表会



【受賞者名】

	学校名	学年	氏名
特選	一箕小学校	6年	伊藤 彩瑛
	松長小学校	1年	小沼 鮎未
	一箕中学校	1年	宇留間大輝
入選	一箕小学校	1年	星 眩
		2年	紺野 新太
		3年	渡部 陽
		4年	佐原 明花
		5年	秋山 千牙
選	松長小学校	4年	長澤 結人
	一箕中学校	2年	菊地 夏帆
		3年	松下 紗英

参加総数 73名

ごあいさつ

一箕地区青少年健全育成推進協議会
会長 猪俣 佐登子

誰もが予想しなかった「コロナウイルス感染」が世界中に蔓延し、人々は感染の恐怖で息をひそめて生活しました。マスク、手指消毒、体温測定、薬局、商店にマスク、消毒液、除菌用品、体温計、いろんな物が品薄になり大変でした。手作りマスクの作り方なども多く出てきました。そういえば〇〇のマスクなどという物も出てきましたね。

子供達も学校が休校になり、家にとじこもり、思いきり体を動かす事ができず、子供の心身に悪影響の状態でした。

我々青少協の活動も、自身も感染も気になるし、子供達に感染させる事も避けなければならぬ。ここ二、三年はほぼ活動ができませんでした。

徐々に「コロナウイルス感染」がおさまりをみせて、少しずつ制限が解除されました。昨年度から一箕地区の文化祭も再開され、青少協の活動も少しずつ以前の状態に戻ることができました。

まだまだ力不足ではありますが、今年度の活動を皆様にご覧いただければうれしいです。

十月二十九日、一箕地区文化祭にて、あいづっこ宣言作文コンクールの表彰式と発表会を行いました。今年度の特選二名の作品をご紹介します。

《特選》

「ありがとう、ごめんなさいを言います」

一箕小六年 伊藤 彩 瑛

みなさんは「あいづっこ宣言」を知っていますか。「あいづっこ宣言」とは什の掟と言われるもので、市民一人一人が自らの課題として市民共通の行動指針として策定されたものです。

その中から、私は「ありがとう、ごめんなさいを言います」の一つにしようと考えました。だれかに助けってもらったり優しくしてもらったら、「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えます。逆に物をこわしてしまったり、迷わくをかけてしまったら、「ごめんなさい」と謝ります。よく使う言葉ですが、正しく使えているかなあと感じたので、身近な「あいづっこ宣言」の中から「ありがとう」と「ごめんなさい」について一度考えてみることにしました。くわしく調べてみると、五つにまとめることができました。一、日ごろから小さなことに感謝する。二、自分の過

ちは素直に認める。三、謝る勇氣を持つ。四、礼儀について心がける。五、言葉づかいを直す。私は、一の「日ごろから小さなことに感謝する」と五の「言葉づかいを直す」を特に心がけています。理由は、小さなことに感謝する習慣を身につけていけば、「ありがとう」が増えると思います。言葉づかいを直すことは、気持ちを伝えるためにとっても大切なことだと思います。

私の三才の妹は「ありがとう」「ごめんなさい」をきちんと言うことができます。例えば着がえを手伝ってあげたり、高いところにあるものを取ってあげると、「ありがとう」と言いおもちやを投げたり、「飯中に遊んでおこられたときには「ごめんなさい」と素直に言うことができます。私は、妹の素直なところを見習いたいと思います。この二つを言えるようになれば兄弟げんかも減ると思います。

「ありがとう」「ごめんなさい」は周りの人たちと関わる上でとても大切な言葉です。なぜなら、自分がだれかになにかをしてあげたときの「ありがとう」「やなにかいやなことをされたときに「ごめんなさい」の一言が無かったら、いやな気持ちになると思います。また、その言葉に気持ちがこもって

なかったり、らん暴な言い方をされたら気持ちは伝わらないと思います。正しく使わないと、相手との関係もくずれてしまいます。相手に分かってもらうためには、相手の目を見て正しい言葉を使ってゆっくり話すことが大切だと思います。来年は中学生になるので「ごんな言葉をかけられたらうれしいか」「ごんな言葉で伝えたら自分の気持ちが伝わるか」を相手の立場に立って相手の気持ちを考えて「ありがとう」「ごめんなさい」を言いたいです。

あいづっこ宣言
「ありがとう、ごめんなさい」



松長小一年 小沼 鮎 未

あいづっこ宣言の「ありがとう、ごめんなさいを言います」のこととおもったことがあります。

「ありがとう」は、じぶんがだれかになにかをしてあげたり、おてつだいをしたりあげたり、おちていたものをひろってあげたときにもだちやママに「ありがとう」っていわれたらうれしいきもちになってまたなにかやってあげた

いとおもいます。

「ごめんなさい」は、じぶんのだいいなものをごわされちゃったり、おともだちとけんかをしちゃったりしたときに、すぐに「ごめんなさい」っていわれたら、「ゆるしてあげよう」ってきもちになります。

だけど、ぜんぜんあやまってもらえなかったり、むしされたりしたら、もっとおこっちゃうきもちになります。

わたしは、「ありがとう」だけはつかえているけど、「ごめんなさい」だけがつかえていません。

だからおともだちをいやなきもちにさせちゃったり、あいてをおこらせちゃったりしちゃったり、なかなかおもしろくゆるしてもらうのにもじかんがかかります。

これからは、「ありがとう、ごめんなさい」がどっちもいえるようになりたいです。

そしてかぞくやみんなとなかよくしたいと、おもいました。

父方の祖父

一箕中一年 宇留間 大輝

ほくは、あいづっこ宣言の中で五の「会津を誇り年上を敬います」という言葉が一番好きです。なぜなのかというと父方の祖父がその言葉通りの人だ

と思ったからです。

祖父は、会津美里町で農家をやっている会津産地の野菜やお米を育てていました。朝早く起き畑の野菜たちに水をやり、田んぼの様子を見たり、草などが生えていたら草むしりをしたりしていました。

お米は、五月に田植えをし、いなほに虫が付かないように様子を見たりして十月近くになるといねかりが始まり美味しい新米をいつも僕たちに届けてくれました。野菜は、きゅうりが一番たいへんで朝起きたら水をやりお昼を食べ、その後水をやり夕方また、水やりをしていました。だから祖父の作るきゅうりはいつもみずみずしくて美味しかったです。祖父はいつ頃寝ているか分からないくらい働いていました。

ぼく達に、いつも野菜をいっぱい作ってくれました。ぼくは、祖父が作る野菜の中で一番好きだったのがトウモロコシでした。身がぎっしりあって甘くて一番好きです。肥料なども、この肥料をまけば身がぎっしりになり甘くなるかと教えてくれたりしました。とても勉強になりました。その祖父が二年前に亡くなりました。もっと一緒にいたかった。教えてほしい事もいっぱい

あった。今となればもういろいろな事を聞いておけば良かったと後かいています。

もう一つの「年上を敬います」という言葉は、祖母が早く亡くなった事もあり、祖父はひいばあちゃんのお世話もしていました。祖父にとっては、自分の母親で年上です。ごはんを作ったりあげたり、食べさせてあげたり、洗たく、清掃、お風呂入れ、買い物などもしていました。ぼくは、すごい祖父だと思っていました。ひいばあちゃんが亡くなり、少し祖父が楽になるのかと思っていたら病気になってしまい亡くなりました。でも、ぼくは、祖父の様な人になりたいと思っています。「会津を誇り年上を敬います。」あいづっこ宣言が似合う人になります。祖父が天国で見守り続けてくれている様な気がしています。

会津が大好きだった祖父、会津魂の様な人でした。仕の掟の「ならぬことはならぬ」という言葉にもあてはまる祖父でもあり、生きていくためには、理くつや言い訳が通らない人として絶対にはやっつけてはいけないことがある、という意味が込められている様に、自分は強くなるために、会津を誇り年上を敬いますがあるのだと思いました。

一箕地区文化祭

子ども屋台村担当

一箕地区の文化祭では、子供スポーツ部会として、体育連盟の方々と協力して、ゲームコーナーを担当しました。

いつも大好評な無料な風船をはじめ、五十円のスーパーボールすくい、射的、くじびき、わなげを準備しました。

天気が心配でしたが、なんとか持ちこたえてくれたおかげで、子供達がとぎれることなく、お店は

にぎわっていました。

予定より早く商品が減っていき、来年への課題もみつかりました。安心して遊べる場所や機会が減っている中、一箕地区文化祭でのお店は、貴重な場所なので…と感じました。

なにより大人たちが元気な子供達を見て、ほっこりする時間になり、みんなが笑顔でいられる空間でした。



あいさつ運動

春季 四月十二日 一箕小
 四月十三日 一箕中
 四月十四日 松長小
 秋季 十一月 八日 一箕小
 十一月 九日 一箕中
 十一月 十日 松長小

朝のあいさつ運動は、春と秋、二回行われました。一箕小学校、一箕中学校、松長小学校の校門前で、登校する生徒達へ、あいさつをする活動です。

四月にはランドセルが重そうだった小学生も、十一月には、ランドセルの他に両手の荷物もしっかり持つことができていて、成長の早さを感じる事ができました。

中学生は、のびのびあいさつをする一年生、少しはにかみながらの二年生、こちらをしっかりと見て、頭を下げながらの三年生と、それぞれの特徴がある様にみえます。(個人的な感想ですが)

朝から元気がもたらえる、貴重な活動なので、これからも続けていけると良いなあと思います。

のぼり旗掲揚・撤去作業

掲揚 七月二十三日
 撤去 八月二十七日
 一箕地区内の一箕小学校
 学鳳中学校・一箕中学校
 松長小学校・会津支援学校
 五校に二枚ずつ夏休みの間に置かせていただきました。

天候にも恵まれ、短い時間で作業を終了することができました。ご協力ありがとうございました。風にゆられる「あいづっこ宣言」の、のぼり旗を見て、大人も子供もその意味を考える時間ができたら良いですね。



祭礼啓発活動

七月二十二日 八幡神社
 八月 一日 蚕養神社
 八月 五日 松長夏祭り
 九月 二日 諏訪神社

あいづっこ宣言が入っているポケットティッシュを青少年を中心に配りました。



大人も子供も皆であいづっこ宣言

- 一、人をいたわります
 - 二、ありがとう ごめんなさいを言います
 - 三、がまんをします
 - 四、卑怯なふるまいをしません
 - 五、会津を誇り年上を敬います
 - 六、夢に向かってがんばります
- やっつはならぬ
 やらねばならぬ
 ならぬことは
 ならぬものです

会津若松市一箕地区 青少協 区長会



編集後記

約四年ぶりに広報誌を発行する事ができました。

「コロナウイルス」で一変した生活が徐々に戻りつつあります。

以前の広報誌を少し変えてみました。気づかれましたか。

令和六年は役員改選があります。委員の中にはどんな事をしていいのかわからない方もいらっしゃる様です。せめて総会資料を見ていただき活動を理解して欲しいと思います。

又、コロナ感染数が増えています。まだまだ「コロナウイルス感染」は終息していませんので予防等に注意をして子供達の為に活動していきたいと思えます。

地域の方々のご協力に感謝すると共に地区全体で子供達の健やかな成長の手助けをお願いいたします。

